

福島町で戦没者追悼式

福島町戦没者追悼式（福島地区戦没者慰霊奉賛会主催）が5月1日、同町内の大山神社で行われました。

追悼式には、遺族など関係者約60人が参加。松浦市連合遺族会岩本幸三^{こうぞう}会長が「戦争には大きな犠牲があることを知り、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、平和の礎となることを誓います」と慰霊の言葉を述べました。

また、参列者は黙とうなどを行い、戦没者の霊を慰めました。



モンゴル村でちびっこ祭り

鷹島モンゴル村ちびっこ祭り（鷹島公社主催）が5月3日、鷹島モンゴル村で開催されました。

「こどもの日」にちなんで、子どもたちに楽しんでもらえるイベントをと毎年開催しています。

この日は、地元のダンスグループ「鷹島踊り鷹」がヨサコイ踊りを披露したほか、ピエロのバルーンマジックショーなどが披露され、集まった子どもたちは楽しいひとときを過ごしました。

まちの話題



ツツジをバックにイベントにぎわう —不老山花と光のフェスター—

「第12回不老山花と光のフェスタ」が4月12日から30日まで開催され、期間中市内外から約3万人が訪れました。

19日にはグラウンドゴルフ大会、20日には各種ステージイベント、スケッチ大会、ウォークラリー大会などが行われました。300人分のぜんざい無料配布では、長蛇の列ができていました。

会場を訪れた人たちは11万本のツツジをバックに各イベントを楽しんでいました。

グラウンドゴルフの上位の結果は次の通りです（敬称略、（ ）はチーム名）。

- ①福田勉（板橋） ②冨本眞澄（里不老会） ③佐藤徹（日田市） ④田石猛（フレンド） ⑤川口定行（北久保）
- ⑥久方義美（鷹島GGC） ⑦野口トラエ（今福愛好会）
- ⑧松本フサエ（郭公尾） ⑨松元時雄（今福愛好会）
- ⑩案浦サク（調川老寿会）





体験型旅行の受け入れ開始

松浦市を中心とした地域で、今年度の体験型旅行の受け入れがスタートしました。

平成14年に発足した松浦体験型旅行協議会(会長友広郁洋松浦市長)は、交流人口の増大を目指し、農村漁村体験と民泊体験の受け入れを行っています。

初日の4月22日は、延暦寺学園比叡山中学(滋賀県)の3年生112人が福島町を訪れ、船釣り・港釣りなどの漁業体験や和牛農家体験、田舎料理・ちゃんぽん作りなどの味覚体験を行いました。

春季は、6月末までに関西・関東の中学・高校生約9,000人を受け入れる予定です。

不当要求対策を強化！

松浦商工会議所(高橋博之会頭)の不当要求行為等防止対策協議会結成大会が4月23日、同会議所で開催されました。

同協議会の設置は県内商工会議所で初めて。近年、商工会議所管内で機関紙購入を求められる事案などが発生したことを受け、協議を進め、今回の結成に至ったものです。

大会には約70人が参加。高橋会頭はあいさつの中で「組織全体で不当要求に応じないという姿勢と警察との連携体制を作ることが重要です」と話しました。その後、警察による講演会もあり、岩田廣文松浦署長は「日本で一番安全安心なまちとなるよう、行政、商工会議所、警察が手を取り合い、暴力団等には毅然とした態度で対応してください」と呼びかけました。

健康でがんばらんば！

長崎県民体操「がんばらんば体操」講習会(市教育委員会主催)が5月8日、松浦スポーツセンターで開催されました。

県民の健康・体力づくりを図り、平成26年開催の長崎国体に向けた県民の気運を醸成するために創作された「がんばらんば体操」の普及を目的に開催されました。

同体操は、歌手のさだまさしさん作詞・作曲の「がんばらんば」の曲に合わせてつくられており、長崎らしいハタ揚げ・のんのこ・龍踊りなどを取り入れたものです。体操には、エネルギーで躍動的な体操の「がんばらんば編」、幼児やお年寄りにも楽しめるシンプルな体操の「げんきアップ編」、椅子に座って出来る上半身の体操の「すこやか編」の3種類があり、幅広い年齢層の人が、体の調子に合わせて同時に体操することが出来ます。

この日は、体育指導員や教師など約50人が参加し、長崎県県民スポーツ課の職員の指導を受けながら楽しく体操を学びました。



住商エアバッグシステムズが道路公園を清掃

住商エアバッグシステムズ(安東武男社長)が5月2日、調川道路公園の清掃作業を行いました。

同社が地元への貢献活動の一環として実施。これまで5月の連休前、盆前、年末の年3回実施してきた事業所周辺の清掃を、今年から外部の公園などでも実施することにしました。

この日は、社員約20人が約1時間半かけて、ほうきや鎌などを使って、植栽の周辺やトイレなどをきれいにしました。



不当要求行為等防止対策協議会結成大会

安全・安心情報の発信基地。松浦市をめざして